



第45回全改協通常総会開催

3年度ぶりの通常開催 橋本前会長から木納新会長へバトンタッチ

一般社団法人全国牛乳流通改善協会(全改協)の通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまで2回、規模縮小での開催やリモート併用を余儀なくされておりましたが、去る6月10日、3年度ぶりに通常形式にて第45回通常総会を東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催しました。

通常総会では、令和3年度の事業報告および決算報告、令和4年度の事業計画および収支予算報告、会費の改定・役員を選任を行いました。総会は、定数38名に対して委任状出席、権利行使含む38名の出席があり、全改協定款第19条および総会運営規程第7条により成立いたしました。別表にお示しした次第のとおり、宮崎副会長の開会宣言後、橋本正敏会長の開会の挨拶があり、引き続き



通常総会の様子

- 第四十五回通常総会 議事次第**
- 一、開会の辞
 - 二、会長挨拶
 - 三、来賓挨拶
 - 四、農林水産省「ミルク・森永乳業」議長選任
 - 五、議事録署名人選出
 - 六、議案審議
 - 第一号議案 令和三年度事業報告書承認の件
 - 第二号議案 令和三年度決算報告書承認の件
 - 第三号議案 令和三年度決算報告書承認の件
 - 第四号議案 会費見直しに関する件
 - 第五号議案 令和四年事業計画および収支予算報告の件
 - 第六号議案 役員改選の件
 - 七、閉会の辞
 - 八、役員改選の件
 - 九、退任役員表彰

一般社団法人 全国牛乳流通改善協会		
役員	氏名	職名
会長	木納 雅康	
副会長	白羽 恵司	
副会長	宮崎 貴浩	
専務理事	家村 正則	
専務理事	伊藤 恵祐	
常務理事	中島 保廣	
常務理事	上原 啓資	
理事	新井 憲一	
理事	猪花 武志	
理事	吉村 隆司	
理事	杉山 公一	
監事	上野 幸司	
監事	平石 克久	

訃報
全改協理事(当時)、福岡県流改協元会長 事務局長(いづれも当時)の長(神良樹さん(享年六十八歳)が令和三年十二月二十五日、配達中の不慮の事故により逝去されました。お悔やみを申しあげ、ご冥福をお祈りいたします。永年の全改協業務へのお力添えに感謝申し上げます。

訃報
全改協元専務理事、香川県流改協元会長の中西園彦さん(享年七十七歳)におかれましては病氣療養中でしたが、令和四年六月八日に逝去されました。全改協理事を経て、十年の長きに亘り専務理事として全改協業務にご尽力いただきました。お悔やみを申しあげ、ご冥福をお祈りいたします。永年全改協に貢献いただきましたことを感謝申し上げます。

〒101-0065 東京都千代田区
西神田3-1-2ウインド西神田ビル502
一般社団法人全国牛乳流通改善協会
TEL.03-6380-8021
FAX.03-6380-8435
e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp
URL: www.zenkaikyou.or.jp
twitter: @zenkaikyou
facebook: 全国牛乳流通改善協会

紙面から



- 第45回全改協通常総会の開催報告 (一)〜(三)面
- 令和4年度事業計画の概要 (三)〜(四)面
- 地区別会議の開催報告 (四)面



挨拶
一般社団法人全国牛乳流通改善協会 会長
橋本正敏氏

第45回通常総会にあたり、ご多用にもかかわらず、ご多用にもかかわらず、関係各位にお集まりいただきありがとうございます。長引くコロナ禍ではありますが、このような形で開催がやっとできるようなりまして嬉しく思っている次第です。皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

コロナ禍も3年目に入り、当会の運営や事業に大変な支障をきたして

参りましたが、感染対策に追われつつも、おかげさまですべての事業に対して理事会で慎重に検討を重ね、その結果、昨年度は残念ながら地区別会議の実施は断念したものの、それ以外の事業については実施することができました。中でも、第33回牛乳販売店優良事例発表会については、初の試みとして、全面リモートにて開催し、事業の目的を果たすことができました。これも関係各位の深いご理解の賜物であり、感謝申し上げます。あわせて、農林水産大臣賞を受賞された青森県の株式会社南山デリーリースービスさんほか参加いただいた加盟店の皆さまに、長引くコロナ禍にもかかわらず前向きに事業に取り組む内容を発表していただき、感謝申し上げます。全国の加盟店の参考と大きな励みになったことと確信しています。また、今回工夫して開催した経験は今後の全改協の事業展開に大いに役立つことでしょう。

さて、現在世界の状況は極めて不安定です。ウクライナ戦争が長引く様相を示しており、その影響たるや計り知れず、資源不足、エネルギー高騰から値上げラッシュが続いております。これが家計に大変な影響を与えることは必至です。ひいては消

毎日の健康を応援いたします! (morinaga logo)

長期常温保存可能

冷奴に

濃厚な大豆本来のうま味
なめらかな食感
常温保存可能品

- なめらかな食感
- 大豆本来の香りと甘み
- 冷奴におすすめ

お料理に

崩れにくくお料理にも
常温保存可能品

- しつかりとした硬さ
- 水切り不要で手間いらず
- お鍋やお料理におすすめ

森永乳業

費の低迷により、私たちの事業にも影響してくる懸念があります。コロナ禍、ウクライナ戦争が早期に解決し、世界経済が早く安定してくることを心より願ってやみません。

一方国民の健康志向は、高齢化とともに層の高まりを見せております。乳業メーカー各社さんの、特に乳酸菌、機能性飲料に係る研究開発が盛んであり、私も常に大いに期待しております。私どもの業界は健康に大きく寄与する、習慣性をもたらず存在です。「元祖宅配」と言っている牛乳宅配の仕組みがまあお多くの支持を受けている要因であろうと感じています。

また、昨年末、ならびに昨年度の末に、生乳の需要と供給のアンバランスにより、大量の生乳廃棄が危惧される状況となりました。これに対して酪農乳業界が一丸となった対応を行い、また、全国的に支援の輪が広がった結果、生乳廃棄の危機は乗り越えることができましたが、この状況はこれからも予断を許さないと拝察しております。

全改協の加盟店である全国の牛乳販売店は、消費者と直接の接点を持ち、自然災害や、現下のような予期せぬ環境の変化があつても、常に安定物流に努めております。そのことが、酪農乳業界の一翼を担う組織としての使命であること認識しております。長い年月をかけて各乳業メーカーさんと培った牛乳宅配の仕組み、地域密着、低温管理配送を得意とする「元祖宅配」である私たちは、巨大なスーパーマーケットチェーン、ネット宅配よりも、疲弊が進む地域にとって貴重な物流システムで

あると自負しております。本日ご臨席賜りました行政および関係者の皆さまにおかれましては、この貴重な物流システムの健全な維持に対してさらなるご支援をいただきたいと存じます。また、関連組織の皆さまには、私たちの業界が酪農乳業界、あるいは食品流通業界の一翼を担う組織であることをご認識いただき、改めて連携の強化をお願いしたいと考えております。

と消費拡大にご尽力されていることに深く御礼申し上げます。また、本日は、感染防止の留意に基づいてこのように対面にて通常総会を開催された執行部、事務局のご努力にも敬意を表する次第です。

さてご存じのとおり、生乳の需給につきましては、生乳生産が好調である一方、長引く新型コロナの影響により継続的に需要は緩和が続いている状況です。そのような中、年末年始や年度末には、大量の生乳廃棄が懸念されたのですが、こうした時期を業界丸で取り組んだからこそ乗り越えることができたものと考えます。

最近暑さを感ずる日も増え、飲用需要が伸びる時期となりました。また、インバウンド需要も進み始めています。一方これから夏場を迎え、商品の温度管理が重要になってまいります。牛乳に対する消費者の信頼を失わず維持すること、これは後の消費拡大に影響を及ぼしていく可能性も考えられます。日頃から安心安全に注意して牛乳を消費者に届けられていると認識しておりますが、消費者の信頼確保のためにも、引き続き衛生管理の徹底をよろしくお願いいたします。

このプロジェクトは、文字通り、牛乳製品を食事に摂り入れることで笑顔になつてほしい、というコンセプトで、企業、団体、自治体など官民の多様な参加者が、農林水産省が作成したロゴマークのもと、連携しながら、あるいはそれぞれ独自に自由な発想のもと、牛乳製品の消費拡大に取り組みプロジェクトです。業界団体のみならず多くの皆さまに参加いただくプロジェクトとなり、是非参画いただき、ロゴマークを活用していただければと考えております。農林水産省では、学校給食のない時期でも牛乳を摂取する必要性を訴えるとともに、飲用のみならず料理での牛乳製品の活用についてもアピールするなど、単に飲用消費への協力依頼だけではない面での取り組みもしております。

このように牛乳需給が緩和する中、農林水産省としても、「プラスワンプロジェクト」として牛乳製品消費拡大を図ってきました。さらなる消費拡大に取り組むため、今朝、金子農水大臣の会見にて、新たに「牛乳でスマイルプロジェクト」の立ち上げを発表したところです。

このプロジェクトは、文字通り、牛乳製品を食事に摂り入れることで笑顔になつてほしい、というコンセプトで、企業、団体、自治体など官民の多様な参加者が、農林水産省が作成したロゴマークのもと、連携しながら、あるいはそれぞれ独自に自由な発想のもと、牛乳製品の消費拡大に取り組みプロジェクトです。業界団体のみならず多くの皆さまに参加いただくプロジェクトとなり、是非参画いただき、ロゴマークを活用していただければと考えております。農林水産省では、学校給食のない時期でも牛乳を摂取する必要性を訴えるとともに、飲用のみならず料理での牛乳製品の活用についてもアピールするなど、単に飲用消費への協力依頼だけではない面での取り組みもしております。

こうした中、加盟店の皆さまにおかれては、日頃から消費者とのつながりを持たれているという、牛乳販売店の強みを活かしながら、消費者ニーズに合わせた宅配など、創意工夫のある取り組みを実践し、さらには地域の見守り機能など、牛乳販売店の通常の役割以上に、定期的に新鮮でおいしい牛乳を各家庭等に直接届けられていることと認識しております。

今後とも、全改協の事業を通じて、地域とのきずなを活かしながら、消費者の信頼確保と牛乳製品の消費拡大にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

行政からの支援につきましては、本年度より、農林水産省として牛乳製品の消費拡大に関しましては、幅広く対応できる事業を用意しております。各都道府県の牛乳普及協会等と組んでいただければ、事業参加がかなりできるようになっております。事業を活用していただき、消費拡大にご協力いただきたいと思います。

本日ご列席の皆さまの益々のご発展、皆さまの活動が地域になくてはならないものとして受け入れられ続けることを祈念しまして祝辞とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

り、これらは酪農乳業の価値向上につながるものであり、改めて敬意を表するところであります。

さてJミルクでは、先週、2022年度の生乳及び牛乳製品の需給見通しと課題について公表いたしました。足元では、新型コロナの制限措置の解除、海外からの入国制限の緩和によつて、業務用需要の回復への期待がされますが、一方、家庭内消費につきましては、残念ながらコロナ前よりも低調な状況で推移しております。生活必需品や電気料金の値上げの中、家計の節約志向の強まりによる牛乳消費へのさらなる影響を懸念いたしております。この状況を改善するためには、牛乳製品の栄養的価値や、経済的に優れていることを訴求し、消費拡大と理解醸成を更に進める必要があると考えております。このような状況だからこそ、地域密着で消費者と直接接点を持つ牛乳販売店の皆さまには、理解醸成の面で活躍されることが大いに期待されていると感じております。

また、皆さまご承知のとおり、国内の食糧自給率は37%と、先進国最低水準である中、今後の世界情勢や為替によつては、国内で必要な食糧を確保することが困難となる可能性も考えねばなりません。国産食糧の安定供給体制の確保や、食糧安全保障の観点からも、国産の牛乳製品の重要性について、国民的な理解を得る働きかけを行っていかねばならないと考えております。現在Jミルクでは、6月1日の「牛乳の日」、6月の「牛乳月間」にあわせ、「ミルクでつながるありがとうの輪」と題し、ミルクのパトントリー2022を実施しております。酪農乳業関係者やミルクファンがつながり、お互いに感謝の意を伝え合うSNSを中心としたキャンペーンです。牛乳製品に関するSDGsの取り組みや、世界中のミルクファンたちの思いを共有する機会です。詳細につきましてはJミルクのウェブサイトにあります。皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

Jミルクは、酪農・生産者、乳業メーカー、牛乳販売店で組織された団体であり、それぞれの利害を乗り越えて協力し、様々な課題を解決することが役割であります。引き続き、Jミルクの事業にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、全改協の隆盛と、皆さまの御健勝を祈念いたしまして、総会開催のお祝いの言葉といたします。

本日、第45回通常総会の開催心よりお慶び申し上げます。また日頃から、橋本会長、執行部、事務局には、会員である都道府県流改協の加盟店の安定に向けて日頃から様々な事業、

このプロジェクトは、文字通り、牛乳製品を食事に摂り入れることで笑顔になつてほしい、というコンセプトで、企業、団体、自治体など官民の多様な参加者が、農林水産省が作成したロゴマークのもと、連携しながら、あるいはそれぞれ独自に自由な発想のもと、牛乳製品の消費拡大に取り組みプロジェクトです。業界団体のみならず多くの皆さまに参加いただくプロジェクトとなり、是非参画いただき、ロゴマークを活用していただければと考えております。農林水産省では、学校給食のない時期でも牛乳を摂取する必要性を訴えるとともに、飲用のみならず料理での牛乳製品の活用についてもアピールするなど、単に飲用消費への協力依頼だけではない面での取り組みもしております。

こうした中、加盟店の皆さまにおかれては、日頃から消費者とのつながりを持たれているという、牛乳販売店の強みを活かしながら、消費者ニーズに合わせた宅配など、創意工夫のある取り組みを実践し、さらには地域の見守り機能など、牛乳販売店の通常の役割以上に、定期的に新鮮でおいしい牛乳を各家庭等に直接届けられていることと認識しております。

今後とも、全改協の事業を通じて、地域とのきずなを活かしながら、消費者の信頼確保と牛乳製品の消費拡大にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

行政からの支援につきましては、本年度より、農林水産省として牛乳製品の消費拡大に関しましては、幅広く対応できる事業を用意しております。各都道府県の牛乳普及協会等と組んでいただければ、事業参加がかなりできるようになっております。事業を活用していただき、消費拡大にご協力いただきたいと思います。

本日ご列席の皆さまの益々のご発展、皆さまの活動が地域になくてはならないものとして受け入れられ続けることを祈念しまして祝辞とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

り、これらは酪農乳業の価値向上につながるものであり、改めて敬意を表するところであります。

さてJミルクでは、先週、2022年度の生乳及び牛乳製品の需給見通しと課題について公表いたしました。足元では、新型コロナの制限措置の解除、海外からの入国制限の緩和によつて、業務用需要の回復への期待がされますが、一方、家庭内消費につきましては、残念ながらコロナ前よりも低調な状況で推移しております。生活必需品や電気料金の値上げの中、家計の節約志向の強まりによる牛乳消費へのさらなる影響を懸念いたしております。この状況を改善するためには、牛乳製品の栄養的価値や、経済的に優れていることを訴求し、消費拡大と理解醸成を更に進める必要があると考えております。このような状況だからこそ、地域密着で消費者と直接接点を持つ牛乳販売店の皆さまには、理解醸成の面で活躍されることが大いに期待されていると感じております。

また、皆さまご承知のとおり、国内の食糧自給率は37%と、先進国最低水準である中、今後の世界情勢や為替によつては、国内で必要な食糧を確保することが困難となる可能性も考えねばなりません。国産食糧の安定供給体制の確保や、食糧安全保障の観点からも、国産の牛乳製品の重要性について、国民的な理解を得る働きかけを行っていかねばならないと考えております。現在Jミルクでは、6月1日の「牛乳の日」、6月の「牛乳月間」にあわせ、「ミルクでつながるありがとうの輪」と題し、ミルクのパトントリー2022を実施しております。酪農乳業関係者やミルクファンがつながり、お互いに感謝の意を伝え合うSNSを中心としたキャンペーンです。牛乳製品に関するSDGsの取り組みや、世界中のミルクファンたちの思いを共有する機会です。詳細につきましてはJミルクのウェブサイトにあります。皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

Jミルクは、酪農・生産者、乳業メーカー、牛乳販売店で組織された団体であり、それぞれの利害を乗り越えて協力し、様々な課題を解決することが役割であります。引き続き、Jミルクの事業にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、全改協の隆盛と、皆さまの御健勝を祈念いたしまして、総会開催のお祝いの言葉といたします。

本日、第45回通常総会の開催心よりお慶び申し上げます。また日頃から、橋本会長、執行部、事務局には、会員である都道府県流改協の加盟店の安定に向けて日頃から様々な事業、

り、これらは酪農乳業の価値向上につながるものであり、改めて敬意を表するところであります。

さてJミルクでは、先週、2022年度の生乳及び牛乳製品の需給見通しと課題について公表いたしました。足元では、新型コロナの制限措置の解除、海外からの入国制限の緩和によつて、業務用需要の回復への期待がされますが、一方、家庭内消費につきましては、残念ながらコロナ前よりも低調な状況で推移しております。生活必需品や電気料金の値上げの中、家計の節約志向の強まりによる牛乳消費へのさらなる影響を懸念いたしております。この状況を改善するためには、牛乳製品の栄養的価値や、経済的に優れていることを訴求し、消費拡大と理解醸成を更に進める必要があると考えております。このような状況だからこそ、地域密着で消費者と直接接点を持つ牛乳販売店の皆さまには、理解醸成の面で活躍されることが大いに期待されていると感じております。

また、皆さまご承知のとおり、国内の食糧自給率は37%と、先進国最低水準である中、今後の世界情勢や為替によつては、国内で必要な食糧を確保することが困難となる可能性も考えねばなりません。国産食糧の安定供給体制の確保や、食糧安全保障の観点からも、国産の牛乳製品の重要性について、国民的な理解を得る働きかけを行っていかねばならないと考えております。現在Jミルクでは、6月1日の「牛乳の日」、6月の「牛乳月間」にあわせ、「ミルクでつながるありがとうの輪」と題し、ミルクのパトントリー2022を実施しております。酪農乳業関係者やミルクファンがつながり、お互いに感謝の意を伝え合うSNSを中心としたキャンペーンです。牛乳製品に関するSDGsの取り組みや、世界中のミルクファンたちの思いを共有する機会です。詳細につきましてはJミルクのウェブサイトにあります。皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

Jミルクは、酪農・生産者、乳業メーカー、牛乳販売店で組織された団体であり、それぞれの利害を乗り越えて協力し、様々な課題を解決することが役割であります。引き続き、Jミルクの事業にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、全改協の隆盛と、皆さまの御健勝を祈念いたしまして、総会開催のお祝いの言葉といたします。

本日、第45回通常総会の開催心よりお慶び申し上げます。また日頃から、橋本会長、執行部、事務局には、会員である都道府県流改協の加盟店の安定に向けて日頃から様々な事業、



祝辞 農林水産省 畜産局牛乳乳製品課課長補佐 武久智之氏

第45回通常総会の開催にあたり、ご挨拶を述べさせていただきます。皆さまにおかれましては、日頃より我が国の酪農・乳業の発展に、消費者に一番近いところからご尽力されておりますこと、この場をお借りして感謝申し上げます。また、ウクライナ情勢等による燃料や資材価格の高騰の影響があるなか、経営の安定を模索しつつ、地域に根ざした様々な生活支援サービス、宅配業務を通じた牛乳乳製品の安定供給



祝辞 一般社団法人Jミルク 専務理事 内橋政敏氏

第45回通常総会の開催、またご挨拶を申し上げます。日頃よりJミルクの事業に御礼申し上げます。特に、橋本会長におかれましては、10年間にわたるJミルクの理事としてご指導賜り、多大なるご貢献をいただきましたことと改めて感謝申し上げます。

全国牛乳流通改善協会は、牛乳販売店による牛乳の流通改善や消費拡大、牛乳販売店の経営安定などに取り組み、特に、牛乳販売店優良事例発表会を通して、お客さま満足度の向上や、高齢者対策、地域社会への貢献、品質管理対応など、すぐれた経営技術を、全国の販売店の皆さまが共有して活動を推進されてお



祝辞 森永乳業株式会社 理事 市乳営業統括部長 浮田和宏氏

賛助会員を代表してご挨拶を述べさせていただきます。

本日は、第45回通常総会の開催心よりお慶び申し上げます。また日頃から、橋本会長、執行部、事務局には、会員である都道府県流改協の加盟店の安定に向けて日頃から様々な事業、

業務に取り組んでいただいております。本来、メーカーがやるべきことだとも思いますが、全改協ではマークの枠を越えた取組を行っていただいております、この場を借りて感謝を申しあげます。

さて、多少緩和されたとはいえコロナ禍が続いております。牛乳販売店においては、当初は「巣こもり特需」もありましたが、その後「巡、二巡」して、現在は恩恵があまりないかな、という状況になっております。それに

加え、ウクライナ情勢、連日の円安などにより、実質、酪農家からメーカー、販売店まで、あらゆるコストがのしかかっています。この難局を、共に知恵を出し共有しあい、そして行動してなんとか乗り切りたいと考えております。

また、生乳需給緩和による余剰牛乳については、年末年始からゴールデンウィークにかけては、様々な方面から呼びかけをいただいたおかげでなんとか乗り切ることができました。ただ、今でも厳しい状況が続いていると聞いております。日本特有の、エリアのギャップ——最大の生産地が北海道であることに対して、消費地はそれ以外日本全土であること——、それと季節のギャップ——冬と春は、ホルスタインは非常に多く乳を出す、市場の消費増の季節は夏と秋である

——この二つのギャップをもとに、メーカーが現在需給の調整を行っておりますが、一番の解決策は飲用牛乳の消費拡大だと思います。学校給食のない、週末、冬休み、春休み、夏休み等に、せつかく牛乳製品を摂る

いい習慣を失わないよう、牛乳販売店を通じて牛乳の飲用を推進していくことが重要だと感じます。牛乳製品は、健康とおしさが両立する製品です。「牛乳宅配」という仕組みを通じて、日々の生活リズムに溶け込み、お客さまが知らず知らずのうちに健康になる、というのが最大のポイントだと思います。この仕組みを、一人でも多くのかたに体感してもらえよう、皆さまと一緒に取り組んでいきたいと考えております。

いずれにしても、日ごとに変化する外部環境に柔軟に対応できるよう、生乳販売一体となって乗り切っていきたいと思います。我々メーカーは、各々の強みを活かし、その価値を提供することにより、よりたくさんの人々を笑顔にすること、豊かな社会づくりに貢献したいと考えております。

木納新会長 所信



木納 雅康 全改協新会長
6月10日
開催の第45回通常総会におきまして

木納新会長より、全改協会長就任にあたり所信が寄せられております。

一般社団法人全国牛乳流通改善協会の会長に選出されました。愛知県牛乳流通改善協会会長の木納 雅康(きのう まさやす)です。橋本前会長の後任として全改協の会長という大役を仰せつかりまして、身の引き締まる思いでおります。

まずもって、橋本会長の10年に亘るご尽力に感謝を申し上げます。至らぬ点が多々あるかと存じますが、精一杯会長の職務を務めさせていただきますので、今までも変わらなく、ご関係各位の皆さま方のお力添えをいただきたく、よろしくお祈り申し上げます。

宅配牛乳を取り巻く環境は、特にコロナ禍による市場の大きな変化もあり、宅配という在り方が大きな注目を集め、結果としてあらゆる業種が牛乳を宅配商品と位置づけて参入してくる厳しい状況となっております。橋本前会長が折に触れて強調された「元祖宅配」、お客さまと直接接点のある「ラストワンマイル」という貴重な流通システムを担う業界であることを忘れず、一層厳しさを増す内外の状況に対応した加盟店のための事業を展開し、業界の発展に尽くす所存でございますので、引き続き「鞭撻、ご協力」の程よろしくお祈り申し上げます。



第45回通常総会 一般社団法人全国牛乳流通改善協会

最後に、全国牛乳流通改善協会ならびに加盟店の皆さまの益々のご繁栄と御健勝を祈念いたしたいと思います。また、橋本会長におかれましては永らくおつかれさまでございました。ありがとうございました。

令和4年度事業計画の概要

第45回通常総会にて承認された、令和4年度事業についてご説明します。この9事業のほかにも政策、酪農乳業の動き、社会情勢、経済情勢など、その時その時の状況に応じて、全改協として機動的に事業や対策を実施しております。それらにつきましては、流改協、マーク協、全改協だより等を通じてお知らせいたします。

(1) 加盟店サポート事業

全改協事業のうち、特に、加盟店である牛乳販売店のみなさまに対して、直接のサポートとして感じていただけたような事業です。

① ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

牛乳を使ったレシピを紹介する全改協オリジナルのミルクカレンダーを制作し、加盟店等を通じてお客様に配布します。料理監修は、バラエティ番組などでもおなじみの和田田日香先生。牛乳を使った特別なレシピではなく、「おなじみのあの料理に牛乳を加えてみる」をコンセプトに、牛乳が入っていることを感じさせない料理を紹介していきます。お客様へのコミュニケーションツールとしてご活用ください。

② 食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の皆さまが設備や機器——宅配システム、冷蔵車両、保冷車両、冷蔵庫、冷凍庫等——を導入される場合、その費用軽減を図るため、公益財団法人食品等流通合理化促進機構を窓口とする国の支援事業の活用により、リース料負担額の軽減を図る事業です。リース対象金額の2/3を機構が肩代わりするため、リースの利息の2/3相当分が値引きされ、1/3に軽減されます。

③ サポート事業検討委員会

昨年度から、全改協だからこそできる加盟店の皆さまのためのサポートを検討し、実現にむけて取り組んでいます。それぞれの販売店様が属するメーカーではできないようなことを中心に実施します。すでに部の事業は決定し実行しておりますが、委員会は引き続き開催し、さらに事業をふやすべく検討していきます。

④ 研修事業 牛乳販売店の事業に係る法律や制度などについて

研修会開催の補助や講師の紹介、内容をわかりやすく解説した資料「Power Point」によるスライド教材の提供などを実施します。

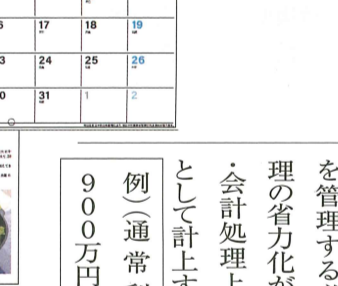
⑤ 仲介事業 全改協がほかの事業者と提携し、加盟店の経営の補助になるようなサービス等を紹介いたします。すでに実施しているものとして、前号の全改協だよりにチラシを入れておりますが、販売店様の求人活動の支援として、採用サイトの無料作成、折り込み広告や求人サイトへの求人広告の特別価格での掲載 を実施しております。

採用・求人にお困りの加盟店さま！
採用サイト作成 実用ツール
1000名まで2週間制作 (税込) 150,000円
1000名まで4週間制作 (税込) 100,000円
1000名まで2週間制作 (税込) 150,000円
1000名まで4週間制作 (税込) 100,000円

食品衛生法が改正されました
HACCPに沿った衛生管理

ミルクカレンダー 2023

30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---



複雑な手続きは、全改協の事務局で行います。ぜひ利用をご検討ください。

牛乳販売店の日常業務とSDGs

SDGs	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1. 貧困をなくそう																	
2. 飢餓をゼロに																	
3. すべての人に健康と福祉を																	
4. 質の高い教育をみんなに																	
5. ジェンダー平等をすすめる																	
6. 清潔な水とトイレを世界中に																	
7. 再生可能エネルギーを普及させる																	
8. 働きがい、経済成長、雇用を創出する																	
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう																	
10. 人や国の不平等をなくそう																	
11. 住み続けられるまちづくりを																	
12. つくる責任、つかう責任																	
13. 気候変動に具体的な対策を																	
14. 海の豊かさを守ろう																	
15. 陸の豊かさを守ろう																	
16. 公正で包摂的な社会を																	
17. パートナリシップで目標を達成しよう																	

自店のDGsチェックリスト

項目	内容	達成状況
1	環境を大切にする	食品ロス削減に努めている
2	地域社会に貢献する	地域活性化のためのイベントに参加している
3	従業員への教育を徹底する	定期的な研修を実施している
4	安全な商品を提供する	品質管理を徹底している
5	社会貢献活動に参加する	ボランティア活動を行っている
6	エネルギー効率を向上させる	省エネ対策を実施している
7	デジタル化を進める	業務効率化のためのシステムを導入している
8	人材育成を行う	スキルアップのための研修を行っている
9	技術革新を促す	新しい機械を導入している
10	社会貢献活動を行う	社会貢献活動を行っている
11	住み続けられるまちづくりを	地域活性化のためのイベントに参加している
12	環境を大切にする	食品ロス削減に努めている
13	気候変動に具体的な対策を	省エネ対策を実施している
14	海の豊かさを守ろう	海洋資源の持続可能な利用を推進している
15	陸の豊かさを守ろう	森林資源の持続可能な利用を推進している
16	公正で包摂的な社会を	社会貢献活動を行っている
17	パートナリシップで目標を達成しよう	関係機関との連携を強化している

◎SDGsへの取り組みのバックアップ 最近よく耳にするし、なかなか重要なことのように感じられる「SDGs」。実は牛乳販売店にも関係するだけでなく、今までの日常業務でもかかわっており貢献している項目もあります。簡単にわかるよう、一覧表を作成し、加盟店の皆さまの取り組みを推進、サポートいたします。

◎牛乳販売店の優良事例発表

および表彰事業
 加盟店の優れた取り組みを広く発表し、加盟店の皆様の経営に役立ていただくための事業です。近年は、社会の少子高齢化を反映し、高齢者の生活支援や地域社会への貢献などに取り組み加盟店の皆さまの活動に特に注目しています。

応募していただきやすいようになっています。皆さまの積極的な応募をお待ちしています。

各発表店の活動内容、当日の発表の模様を動画でご覧いただけるようになっています。

すでに過去の内容が公開されていますのでぜひご覧ください。

事業会議(地区別会議)

全改協の本年度事業の内容が加盟店の皆さまに確実に伝わるよう説明するとともに、加盟店さま、流改協、マーク協からの意見を伺い、全改協全体の活動に活かす目的で開催しています。すでに6月に実施しました。会議内容の報告は、下の記事をご参照ください。



◎全改協ホームページ

都道府県流改協や加盟店の皆さまに全改協から提供する情報、必要な文書、知っていただきたい情報などをTwitterに掲載し、必要に応じて受け取っていただけるようにしています。そのほか常時情報を掲載し、一般に向けても宅配牛乳や牛乳販売店への理解を深めていただくようにしています。

地区別会議を開催しました

上の本年度の事業内容でも説明していますが、全改協の事業内容を都道府県流改協事務局と都道府県各マーク協のご担当者等を対象に説明する「地区別会議」を全国5か所で開催しました。

新型コロナウイルスの影響で2年間開催を控えておりましたが、全改協執行部が新体制になったこともあり、感染対策に留意しながら、開催は懇親会などの説明会のみとして開催しました。

＜地区別会議 開催日と開催場所、参加都道府県＞

実施日	6/15(水)	6/17(金)	6/22(水)	6/23(木)	6/24(金)	
開催地	東京	仙台	福岡	大阪	名古屋	
参加都道府県	栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 石川県 富山県 福井県	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	広島県 山口県 福岡県 大分県 佐賀県 熊本県 長崎県 鹿児島県	大阪府 滋賀県 兵庫県 奈良県	岐阜県 愛知県 三重県 滋賀県	
担当役員	木納会長 宮崎副会長 伊藤常務 全改協事務局	家村専務 伊藤常務 全改協事務局	木納会長 家村専務 全改協事務局	木納会長 白羽副会長 家村専務 伊藤常務 全改協事務局	木納会長 白羽副会長 伊藤常務 全改協事務局	

右記の都道府県流改協の事務局、ならびに各マーク協の代表者の方が出席されました。

今回は、コロナの感染が完全に収束していませんため、万が一の事態によって日常業務への影響が出てくることを懸念され、特に関西では参加が少なかつたことが残念でした。通常業務が心配なくできるようになった際には、積極的にご参加をお願いいたします。

3年ぶりに全改協の事業について直接対面でご説明することができ、書面での説明よりも深くご理解いただけたことと思います。引き続き全改協事業に対してご協力をお願いいたします。

一般社団法人全国牛乳流通改善協会
 令和4年度事業計画について

1. 経理サポート事業
 (1) 売上レポートについて
 ●おとつ人専用は昨年同様から継続します。
 (2) 食品業界向けに食品ロス削減レポートについて
 ●食品ロス削減レポートは、SDGsへの取り組みとして提供いたします。
 (3) ワポート事業サポート委員会
 ●加盟店の関係機関(公的機関等の関係)との関係強化を支援いたします。

2. 年次報告書の発行促進事業
 ●加盟店の年次報告書の発行促進を支援いたします。これまでが報告書に不足していた項目を、事例を参考に改善した報告書を作成していただきます。

3. 事業会議
 ●本年度の全改協事業の内容を、各都道府県の加盟店の関係者、各マーク協代表者、メーカー代表者を対象に開催いたします。
 ●開催(6月15日、17日、22日、23日、24日)の5日連続で開催いたします。

4. 広報推進事業
 (1) 雑誌「全改協だより」年4回発行
 ●加盟店全改協の広報
 (2) ホームページ、SNSの活用について
 ●YouTube全改協チャンネルの活用
 (3) 特設ウェブサイト(SDGs)への掲載について
 ●加盟店の活動と牛乳販売店について掲載いたします。

自然の恵みを楽しむ方へ

おいしい 雪印メグミルク牛乳

低温脱気製法

低温でやさしく酸素を除去してから殺菌することで生乳本来の「おいしさ」を保つ技術です。

カルパワー・カルパワー

MBP

雪印メグミルク 雪印メグミルク

カルパワー

1日分のカルシウムと鉄分 栄養機能食品(鉄・葉酸)

ビタミンD 葉酸 ビタミンB12

低脂肪

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

雪印メグミルク 宅配フリーコール 0120-758-369

9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

商品の中身・成分に関するお問い合わせ

<https://www.meg-snow.com/contact/t-inquiry/index.php>